



## 「変革」そして「創造」へ

「変革」というテーマで、平成30年6月1日（金）、2日（土）の2日間にかけて、全国就業支援ネットワーク主催の第20回定例研究・研修会が鹿児島県霧島市で開催されました。全国から250人を超える障害者の就労支援に尽力する仲間が集まり、自分たちの役割について今一度確認する研修会になりました。このテーマには、制度にとどまらず枠を越えた支援について考えるという想いが込められていました。目の前の困難に直面した人に出る支援を考えること、そしてそれは単に制度を越えるということではなく、新たなものを創造することにつながるということを強く感じる機会になりました。

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会は、今年設立10年を迎えます。これまでは、何もかもが試行錯誤であった「障害者就業・生活支援センター事業」。どのように考えて、どのように運営するべきかを他機関と共に検証し、方向性を模索してきた10年だったのではと思います。次第に連絡協議会の活動が広く周知されるようになり、他機関との連携がスムーズにとれるようになった今、その役割は大きく変わったと考えます。我々の支援対象者も知的障害者から精神障害者・発達障害者等へと広がり、最近では「何らかの働きづらさを抱えた人」とも言われるようになりつつあります。これまでの連携、支援手法では十分な支援が出来ない状況の中、私たちの対応するスピードが追いつかず、結果として「出来ない」理由を探してしまうことが懸念されます。私たち連絡協議会には「出来ない」ではなく「どうすれば出来るか」を組織として考え提案することが求められています。

平成30年度は「精神障害者の雇用義務化」「就労定着支援事業の創設」という二つの大きな動きがあり、障害者雇用・就労の場、障害者福祉の場、共に大きな変化が訪れています。そしてこのどちらにも深く関わり、連携している私たち障害者就業・生活支援センターには二つの大きな役割があるのではないのでしょうか。

一つ目はこれらの変化を総合的に捉え関係する機関を有機的に結びつける役割、そして二つ目は、既存の制度や機能では足りない面をどのように補い、より有効なサポートにつなげるかを提案する役割になります。

この大きな変化、変革を今後のあるべき姿を模索する機会として捉え、連絡協議会として状況を検証し積極的に発信していきたいと考えます。今後も関係機関との連携をより強固なものとし、我々がなすべき役割・方向性について十分に検証し、支援対象者にとってより良いサポートが出来るよう尽力していきたいと思えます。

これからも千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会をよろしく願います。

会長 千葉障害者キャリアセンター 藤尾健二

## 千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 平成30年度受託事業

### ○障害者就労促進チャレンジ事業

#### ・事業目的

障害者雇用の促進を図ることを目的とし企業及び障害者双方の意識改革、就労支援機関と企業との関係構築を図る。

#### ・事業内容

##### 1) 企業等の理解促進

法定雇用率未達成企業や障害者雇用経験のない企業を対象に障害者雇用への理解・促進を図る。

##### 2) 障害のある人等の意識改革

障害者やその家族に対し「企業で働く」ことへの意識改革を図る。

##### 3) 短期職場実習

就労に関心の高い障害者へ短期職場実習の手配・調整を行う。

### ○平成30年度精神障害者等向け実践能力習得訓練コースの委託先機関開拓業務

#### ・事業目的

就労を希望する精神障害者等の職業訓練に対する受講ニーズや個々の状況を把握し、障害の特性を踏まえた効果的な職業訓練の受講を促すために、受託企業の開拓から、訓練計画作成、実施までを、千葉県立障害者高等技術専門校と連携しながら取組み、精神障害者等の就労を促進すること。

#### ・事業内容

##### 1) 訓練コース受託企業及び事業所の開拓

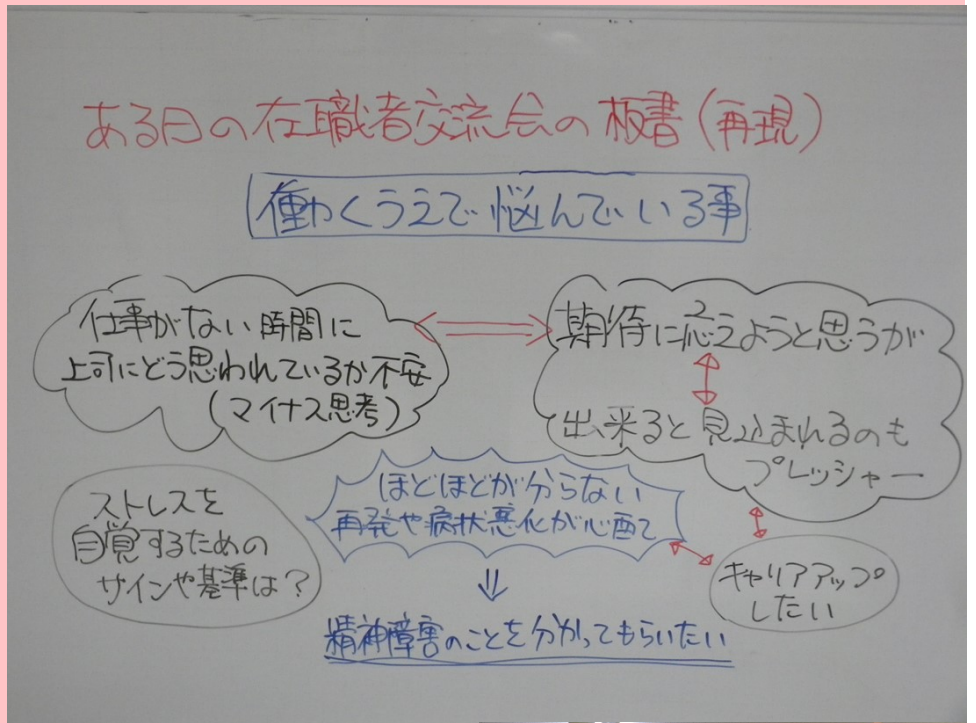
##### 2) 訓練内容やカリキュラムのコーディネート

##### 3) 訓練コース受託企業に対する事務手続き等の支援、訓練受託企業に対する助言や支援

# 長生ブリオ 精神障害者の在職者交流会（ミーティング）！

こんにちは！ 社会福祉法人ワーナーホーム・長生ブリオです。長生ブリオはJR外房線茂原駅東口から約300メートル、ハローワーク茂原からも徒歩15分で来られるという便利な場所にあります。運営母体のワーナーホームは精神障害者への支援を30年以上行ってきたので、精神障害者の登録者も多く、彼らの就労支援にも力を入れています。

例えば在職者交流会は、全障害種を対象とした会と、精神障害者を対象としたミーティングを主に行う会を隔月で開催しています。特に後者（精神の会）は毎回10名程度の参加ですがリピーターも多く、自己紹介や近況を話すだけでなく、ご自身の将来や家族の高齢化、キャリアアップの悩みなどを話される方もいて、障害者雇用を取り巻くまさに「今」の課題がリアルに語られます。共感しあったり、職場や生活上の工夫について訊いたり助言したり、互いが毎回会えるのを楽しみにしている「支え合い」が起きていることを実感します。このような在職者交流会が続いているセンターは千葉県内でも珍しいのではないのでしょうか。実は当センターの精神障害者の就職1年後定着率は他の障害種より低い傾向にあります。しかし初めての就労で分かった自身の得意不得意を次の就職活動の参考にするとか、キャリアアップを目指して転職するとか、離転職もプロセスとして捉え長い目で見た彼らの成長や生活の質の向上に価値を見出して、これからも気長に一緒に考えながら携わっていきたいと思います。 長生ブリオ 山岡 功平



## 高木さんの…つぶやき 人気シリーズ!



最近、うれしいことがありました。Nさんが、以前より希望していた事務職（正社員）への就職が決まったのです。Nさんは、20代の女性で統合失調症です。8年前に初めてお会いしたときは、まだ10代の専門学校生でした。言葉少なく清楚でかわいらしい印象は、今も変わらずですが、変わったところは、将来に希望を持って前に進むことができるようになったことです。この8年間では、就労移行支援事業所へ通所後、クローズ（障害を伏せて）で派遣の販売等の仕事をしていました。気づいたら週5日フルタイムで勤務できるようになっていました。障害をオープンにして事務職につくことを目指していたのですが、なかなか企業の壁は大きく立ちはだかり、書類選考で落とされてばかりでした。「精神障害、統合失調症を一つのイメージで捉えて欲しくない」、「個として彼女を見て欲しい」との思いで、企業とやり取りしてきましたが、支援者としての力不足も痛感していました。

今回、応募前に企業見学をさせていただきることになり、トントン拍子で就職が決まりました。10色ある制服の中から、彼女の好きな2色、水色と紺色を選んだそうです。「Nさん、あきらめないでよかったね。就職おめでとう！」



## はーとふる ～圏境の事業所としての課題と今後～

「醤油と枝豆の街」野田市に、全国でも稀な市役所内に事業所を構えている中ポツセンターが『はーとふる』になります。担当圏域は野田市のみという非常に地域密着型の中ポツセンターです。

千葉県民の方であれば「ちーぱくんの鼻の位置」と言えば野田市のロケーションがわかるかと思いますが、江戸川・利根川・利根運河と、三方を川に囲まれ、埼玉県・茨城県にめり込むように位置した千葉県の陸の孤島となっていますが、自分の求める支援を求め、他県から『越境』して相談に来られる方もいらっしゃいます。そこで今回は野田ならではの越境支援の現状をお伝えしたいと思います。

まず、当センターに登録している他県在住者は、「県を越えた方が在住市の中ポツセンターに行くより近い」「利用したい支援機関がない」「最低賃金が茨城より高い千葉で仕事を探したい」「通院先が野田市だから」「ゆくゆく千葉県に引越したい」等の理由で登録されています。中でも千葉に引越したい方の多くは「在住県では障害手帳が取りにくい」「生活保護が取りにくい」と話されています。

前述のように地域によって行政の考えや支援制度等の違いから、連携のしにくさが起こることもあります。最近では減りましたが、「他県の中ポツセンターとの連携は難しい」と支援事業所から言われたこともありましたが、支援の軸をどの事業所が担うかの調整に時間が掛かることもあります。また県が異なると担当する支援の範囲やそもそもそれを担う事業所がないといったこともあります。もちろん逆の場合もあるので、他県では「千葉は不便」と言われていることもあるかもしれません。

こういったことがある一方、情報の共有をきっかけに連携を始めることもあり、自県の情報や課題、ケース等を共有し、意見交換会に出席し合う程、交流が深まったこともありましたので、何がどう転ぶかわからないものです。

『越境支援』では地域特性やローカルルールを理解した上で支援を進めていかなければ行き詰ってしまうようなことも間々あるので、隣接県の情報を集めることは必須になりますが、その分担当圏域のみでは知りえない、また考えられない支援方法や取り組みに触れることができるのはメリットだと思っています。

当センターだからこそ出来る他県との連携を行っていき、県庁所在地からほど遠い千葉の端から存在感をアピール出来る中ポツセンターを目指し努力を続けたいと思います。

はーとふる 柄澤 隆一



## 在職者交流会アンケート

前号に続き、在職者向けの交流会についての続報です。人気のあった交流会について、各センターにアンケートをとりました。今回は、「お勉強編」でしたが、今回は「お勉強編」。どんなテーマで話し合っているのかご紹介いたします。「はたらく」ということに支援者である私たちも、いくつもの“気づき”を感じることがあります。

### 【お勉強編】

- ・ S S T を通して自分の考え方のクセを知ろう
- ・ 悪徳商法について
- ・ 生活とお金・手紙の書き方について学ぶ
- ・ 職場内の対人関係によるストレス・ケアについて
- ・ 防災について
- ・ 働いていて良かったことや困ったことの共有（精神障害者対象）
- ・ P C 基本操作教室（自分の名刺作成）
- ・ 自立に向けて・困っていること、悩んでいること
- ・ 休憩時間、休日の過ごし方
- ・ 自己理解と他者理解について（気づきのグラフモデルを活用）
- ・ 「いろいろな仕事、職場のマナーやルール」等のDVD鑑賞 等



# 総会報告

平成30年5月18日（金）千葉市商工会議所にて平成30年度千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会総会が開催されました。

会長の挨拶では、新しい福祉サービスの『就労定着支援事業』が始まり、より地域づくりを意識していく事が重要であるとの話がありました。一方では、雇用率が上がっていく中で、全国の特例子会社から「雇用率は逃げ水のように永遠に続くのなら我々は雇用のモチベーションが保てない」との声があり、そういった企業に対しての雇用相談や支援を継続していく必要性があげられました。

平成29年度事業報告及び決算報告、平成30年度事業計画及び予算についての説明があり、役員の変更については、特別部会を新たに設けることやワーキングチームについて来年度以降、予算に計上していく方向性であるとの話がありました。役員については前年度同様の体制で引き続き行うことになり、全ての議案において全会一致で可決承認されました。

引き続き行われた情報交換会では、新しく参加したメンバーの紹介を始め、日頃の各センターの取組みを共有できる有意義な場となりました。



担当圏域	名称	電話番号
千葉市	千葉障害者キャリアセンター	043-204-2385
船橋市	大久保学園	047-457-7380
市川市・浦安市	いちされん	047-300-8630
習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市	あかね園	047-452-2718
松戸市・流山市・我孫子市	ビック・ハート松戸	047-343-8855
柏市	ビック・ハート柏	04-7168-3003
野田市	はーとふる	04-7124-0124
成田市・佐倉市・四街道市・八街市 富里市・印西市・白井市・印旛郡	就職するなら明朗塾	043-235-7350
香取市・香取郡	香取就業センター	0478-79-6923
銚子市・旭市・匝瑳市	東総就業センター	0479-60-0211
東金市・山武市・大網白里市・山武郡	山武プリオ	0475-77-6511
茂原市・長生郡	長生プリオ	0475-44-4646
勝浦市・いすみ市・夷隅郡	ピア宮敷	0470-87-5201
館山市・鴨川市・南房総市・安房郡	中里	0470-20-7188
木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市	エール	0438-42-1201
市原市	ふる里学舎地域生活支援センター	0436-36-7762

## 編集後記・広報部会より

この編集後記を書いている時期は、ロシアW杯が開幕し日本がこれからどう躍進していくのかなど大変盛り上がっておりました。本号が皆様のお手元に届くころは、ちょうどその結果が出たところだと思います。予選リーグを突破して決勝トーナメントになんとか勝ち上がって日本の試合観戦の機会がまだある状況を願うばかりです。

広報部会 佐藤 正成

## 事務局

千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会  
障害者就業・生活支援センター  
ふる里学舎地域生活支援センター  
千葉県市原市今富1110-1

電話：0436-36-7762 F A X：0436-26-7090

E-mail：fg.shien@yukeikai.jp

ホームページ：http://www.chiba-centernw.com/